

〔第 1 号議案〕

お手植え・お手播き樹種等（案）について

植樹専門委員会による選考結果に基づき、お手植え・お手播き樹種、および招待者記念植樹会場を下記のとおりとすることをお諮りします。

＜お手植え樹種＞

◆天皇陛下（3種）

スギ（少花粉）		<p>＜選定理由＞</p> <p>林業における主要樹種であり、滋賀県で独自に開発された少花粉スギ蒲生 1 号は滋賀県の循環型林業を担う樹種である。</p>
トチノキ		<p>＜選定理由＞</p> <p>琵琶湖水源林を象徴する樹種であり、県内に全国的にも珍しいトチノキ巨木林が存在する。</p>
アカガシ		<p>＜選定理由＞</p> <p>湖国三大祭である大津祭の曳山の材料として利用されている。</p>

◆皇后陛下（3種）

ヒノキ		<p>＜選定理由＞</p> <p>前回大会の天皇陛下のお手植え・お手播き樹種であり、スギと同様、滋賀県の循環型林業を担う樹種である。</p>
イロハモミジ		<p>＜選定理由＞</p> <p>前回大会の皇后陛下のお手植え・お手播き樹種であり、「モミジ」は滋賀県の木である。</p>
エドヒガン		<p>＜選定理由＞</p> <p>県内に自生する見栄えの良い樹種であり、県内には県指定自然記念物となっている巨木・名木が存在する。</p>

<お手播き樹種>

◆天皇陛下（２種）

クロマツ		<p><選定理由> 滋賀県の里山の主要構成種であり、近江八景「唐崎の夜雨」に描かれている樹種である。</p>
コウヤマキ		<p><選定理由> 古くより琵琶湖水運の丸子船の材料として利用されてきた樹種であり、琵琶湖との文化的なつながりがある。</p>

◆皇后陛下（２種）

ウツクシマツ		<p><選定理由> 県内に自生するウツクシマツ群生の中には国指定の天然記念物となっているものもあり、県独特の樹種として全国へPRできる。</p>
ホンシャクナゲ		<p><選定理由> 「シャクナゲ」は滋賀県の花であり、県内に自生するホンシャクナゲ群落は国指定の天然記念物となっているものもある。</p>

<招待者記念植樹会場>

候補地名	所在地	植樹コンセプトと樹種
鹿深夢の森 (式典会場併設)	甲賀市	【循環型林業】 スギ(少花粉)、ヒノキ 計2種
比叡山	大津市	【循環型林業】 アカマツ(抵抗性)、クロマツ 計2種
滋賀県油日林木育種場	甲賀市	【林木育種】 アカマツ(抵抗性)、スギ(少花粉)、ウツクシマツ 計3種
みなくち子どもの森	甲賀市	【森林環境学習】 オニグルミ、クリ、アベマキ、カシワ、クヌギ、コナラ、ナラガシワ、エノキ、ケヤキ、ムクノキ、カツラ、タムシバ、ホオノキ、クロモジ、ノリウツギ、ウツギ、センダン、キハダ、ウリハダカエデ、メグスリノキ、ムクロジ、エゴノキ、タニウツギ 計23種
滋賀県希望が丘文化公園	野洲市	【自然観察】 アカマツ(抵抗性)、クヌギ、コナラ、クロモジ、ウツギ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、イロハモミジ、コバノミツバツツジ、マルバアオダモ、ムラサキシキブ、ガマズミ 計12種
東近江市新出町	東近江市	【里山再生】 オニグルミ、ハンノキ、クヌギ、コナラ、カツラ、ホオノキ、クロモジ、ノリウツギ、ナナカマド、キハダ、イロハモミジ、ウリハダカエデ、ヤブムラサキ、ガマズミ、コバノガマズミ 計15種

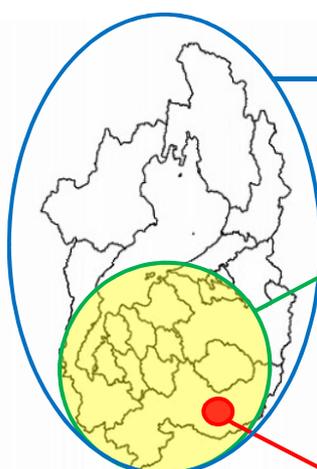
※苗木総本数10,000本

植樹専門委員会について

1 植樹専門委員会への付託事項

植樹行事にかかる会場および樹種の選定に関すること。

- ・天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き樹種の選定
- ・招待者記念植樹の会場および樹種の選定



◆一般県民記念植樹会場（県内各地に数箇所）

市町や団体等との連携により、一般県民向け記念植樹を実施
会場および樹種については、事務局で選定する。

◆招待者記念植樹会場（式典会場周辺に数箇所）

式典招待者による記念植樹（4,000人）を実施
会場および樹種については、**植樹専門委員会**で選定する。

◆式典会場（甲賀市「鹿深夢の森」）

両陛下によるお手植え・お手播き、代表者による記念植樹を実施
樹種については、**植樹専門委員会**で選定する。

2 植樹専門委員会委員

（敬称略）

区分	氏名	所属・役職等
委員長	高橋 卓也	滋賀県立大学環境学部 教授
委員	青木 繁	滋賀自然環境研究会
	神田 信行	（公財）滋賀県緑化推進会 常務理事
	小嶋 喜一	滋賀県森林組合連合会 理事・参事
	長島 啓子	京都府立大学生命環境科学研究科 准教授
	宮城 定右衛門	滋賀県山林種苗協同組合 代表理事

3 委員会での検討内容および結果

会議等の開催状況

- ◆市町への照会（平成30年8月9日～31日）
 - ・県内全市町へ、招待者記念植樹会場候補地について意見照会
- ◆第1回会議（平成30年9月14日）
 - ・お手植え・お手播き樹種を検討
 - ・市町からの照会結果を基に、招待者記念植樹会場および樹種を検討
- ◆現地調査（平成30年9月21日）
 - ・招待者記念植樹会場の現地調査を実施
- ◆第2回会議（平成30年10月25日）
 - ・お手植え・お手播き樹種、招待者記念植樹会場および樹種を検討
- ◆第3回会議（平成30年11月22日）
 - ・お手植え・お手播き樹種、招待者記念植樹会場および樹種を選定

お手植え・お手播き樹種の検討および結果

◆検討のポイント

- ・ お手植えの苗木の大きさは1.0m～1.2mとして検討
- ・ 樹種の選定にあたっては、県のシンボリックな樹種や、森林資源の利活用を象徴するような樹種、花や実や紅葉が美しい樹種を中心に検討
- ・ 滋賀県の「森林」「びわ湖」「人（暮らし）」の関わりを表現できるような、ストーリー性のあるものを検討

◆検討の結果

対 象	お手植え樹種【3種】			お手播き樹種【2種】	
天皇陛下	スギ(少花粉)	ヒノキ	アカガシ	クマツ	コヤマキ
皇后陛下	ヒノキ	イロハモジ	イトヒガン	ウツクシマツ	ホシヤクナギ

招待者記念植樹会場と樹種の検討および結果

◆検討のポイント

<会場選定の条件>

- ・ 式典会場（甲賀市「鹿深夢の森」）へのアクセスが良好であること
- ・ 苗木総本数1万本が植樹できること
- ・ 多様なコンセプト（樹種）が設定できること
- ・ 各会場が分散していること

<会場の検討>

- ・ 市町照会により回答のあった2か所（甲賀市、東近江市）
- ・ 事務局より提案した4か所
⇒うち1か所は特に、滋賀県の象徴である琵琶湖が見える会場を提案

<樹種の検討>

- ・ 樹種は、各会場の地域特性および植樹コンセプトに合わせた樹種を検討

◆検討の結果

会場候補	所在地	植樹コンセプト	樹種候補
鹿深夢の森 (事務局提案、式典会場併設)	甲賀市	循環型林業	スギ(少花粉)、ヒノキ 計2種
比叡山 (事務局提案、琵琶湖が見える会場)	大津市	循環型林業	アカマツ(抵抗性)、クマツ 計2種
滋賀県油日林木育種場 (事務局提案)	甲賀市	林木育種	スギ(少花粉)、ウツクシマツ等 計3種
みなくち子どもの森 (甲賀市回答)	甲賀市	森林環境学習	クヌギ、コナラ、クモジ等 計23種
滋賀県希望が丘文化公園 (事務局提案)	野洲市	自然観察	コナラ、イロハモジ等 計12種
東近江市新出町 (東近江市回答)	東近江市	里山再生	コナラ、ガマスミ、ハシキ等 計15種